



学校便り 「志々伎の風」

No.6

目指す児童像

- 「自然に親しむ優しい子ども」
- 「自分で学び考える子ども」
- 「気力・体力を高める子ども」
- 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年6月25日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【教育週間】

今日から、「志々伎っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。全校朝会では、命をテーマにしたブックトークを行いました。

- ① ジェイクからの10のおねがい (絵・訳：葉 祥明)
- ② チャーリー・ブラウン なぜなんだい？ (チャールズ・M・シュルツ作)
- ③ ちいさなあなたへ (文：アリスン・マギー、絵：ピーター・レイノルズ)
- ④ なんてすてきな日 (作：アンドレ・ダーハン)
- ⑤ 子ぎつねヘレンがのこしたもの (作：武田津 実)

全て、平戸市立図書館にあります。手に取ってみませんか。

「人は 人を浴びて 人になる」

高度情報化社会の今、インターネットなどであらゆる情報が瞬時に手に入るようになりました。その反面、「人を浴びる」(人と交わる)ことが、少なくなっています。

知力・体力が大切なことはもちろんですが、やはりその根底には、人間力(徳)が不可欠です。教育週間において、志々伎っ子は、明寿会の方々との交流会や授業参観、食育講演会、フラワーロード作戦、主任児童委員の方々の学校訪問など、数多くの「人を浴びる」ことができます。皆様の多数の来校をお待ちしています。

【親子で読書・みんなで読書】



犬を飼っている人だけでなく、動物やか弱い生き物のために、私たちが自覚しておくべき大切なことを犬のジェイクを通して語りかけてきます。葉祥明さんの絵をとおして、一つ一つの言葉がさらに心に残ります。

【転出のあいさつ】

〇〇 〇〇 教諭…〇〇小学校へ(新補教頭)

6月24日まで志々伎小勤務

明るく素直で愛らしい子どもたち、あたたかくて協力的な保護者や地域の皆様、志々伎小学校に赴任して5年3カ月間、本当に充実した日々を過ごすことができました。志々伎小学校でのすてきな思い出を胸に、新たな場所での一歩を踏み出します。これまで本当にありがとうございました。

【県学力調査の結果】

4月に実施した長崎県学力調査の結果が出ました。志々伎小学校の5年生は、国語も算数も県平均を10ポイント前後上回る結果でした。しかし、各問題毎の結果を見ると課題があります。主な課題は、下記のとおりです。

【国語】「ていねい語に直す」

【算数】「分数のたし算」「小数のわり算」「グラフの読み取り」

さらに、一人一人の課題をしっかりと分析し、今後の指導に生かしていきます。